



あねい

For Adult Only
Presented by odin

八月ー…

さんさんと太陽が
降り注ぐこの季節

待ちに待った

夏休みがやってきた

ここは
○○村

あまり人も住んでいない
小さな村で
げんかいしゅ…しゅう…
なんとかってところ
らしいです

僕は青山^{みき}
○○歳の
○○生です

僕は夏休みになると
毎年この○○村に住む
おじいちゃんと
おばあちゃんの家に
疎開させられています

でも僕は
夏休みに毎年ここに
来るのが大好きです

なぜかって？
それは…

ミキくんっ
こっちだよ



こっちこっち

七海...

おねえちゃん...

去年よりも
背大きくなってる

う うんっ
3センチ伸びた...

電車の乗り換え
難しくなかった？

ちよつとだけ…

えらいね
ミキくんは

自分ひとりで
ここまで
来れるんだもん

もう立派な
大人だっ

ううん
本当の大人なのは
七海お姉ちゃん
です

だってめちゃうくちや
キレイで近くにいと
いつも
イイ香りがするから

ここは
夏休みのあいだ過ごす
おじいちゃんと
おばあちゃんの家

古くて木の匂いにする
わふう?のおうちです

かまどとか
いろいろとか
めずらしいものが
たくさんあります

夜は
ちよっとだけ怖いけど
でも僕はこれがおうちが
大好きです

おじいちゃんと
おばあちゃんは
ちよっと耳が遠いけど

僕にすごく
優しくしてくれて

ここには
七海お姉ちゃんが
いるー！

そして
何よりー！

いろりを囲んで
みんなで食べる
ごはんは
すごくおいしくて

それに
七海
お姉ちゃんは…

時々だけど…
僕がふしぎな気持ちに
なることを
してくれるんです…

ほかの
大人の人たちは
してくれない
ふしぎな事…

ナ…ナナミ…

お姉ちゃん…

まだ…起きてる？

ん…ん…

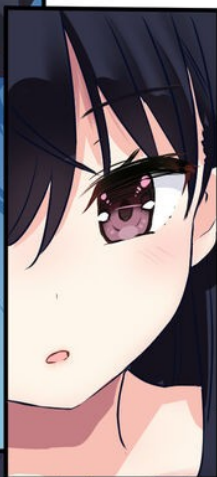
どうしたの？
ミキくん

モッ

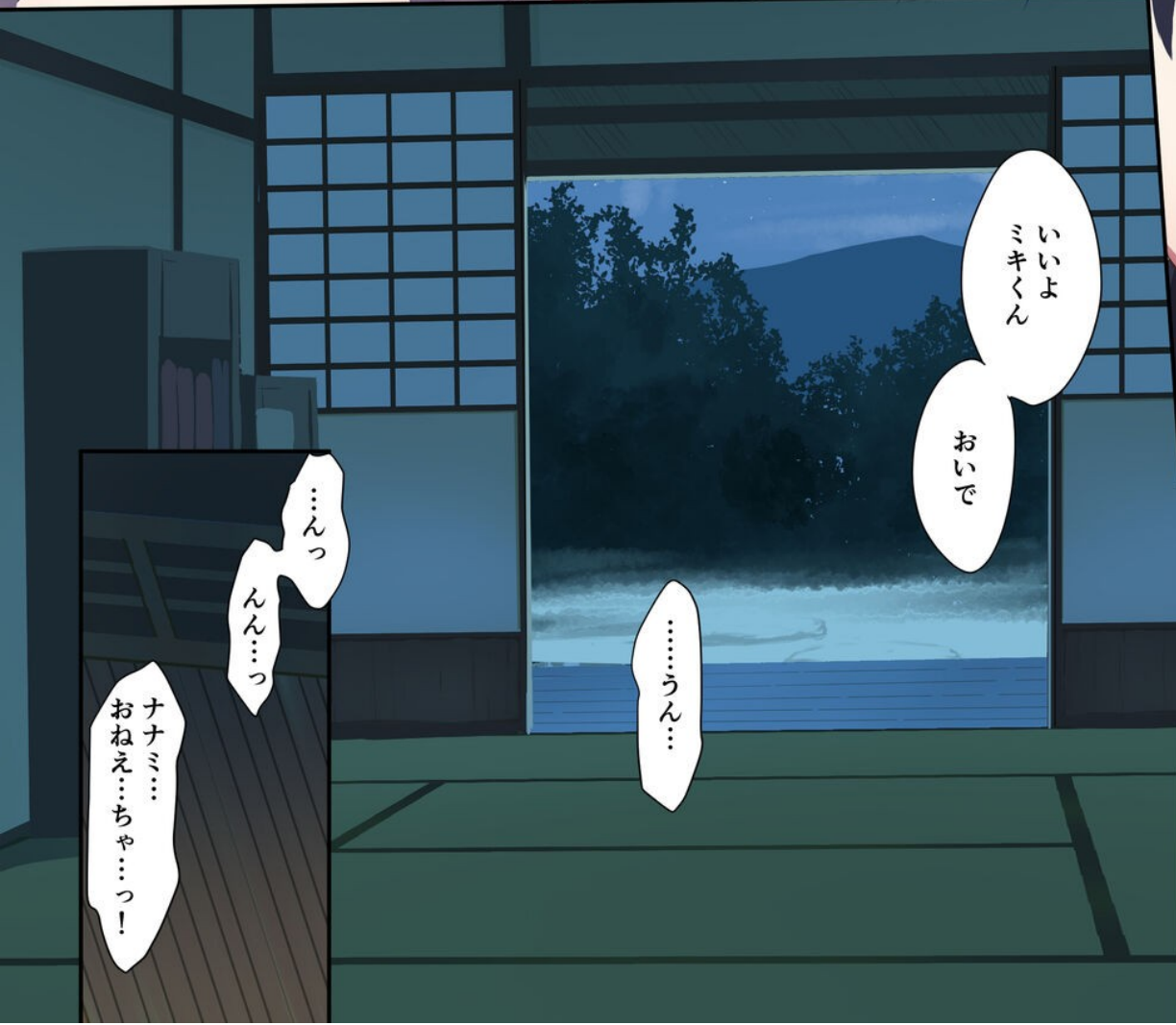
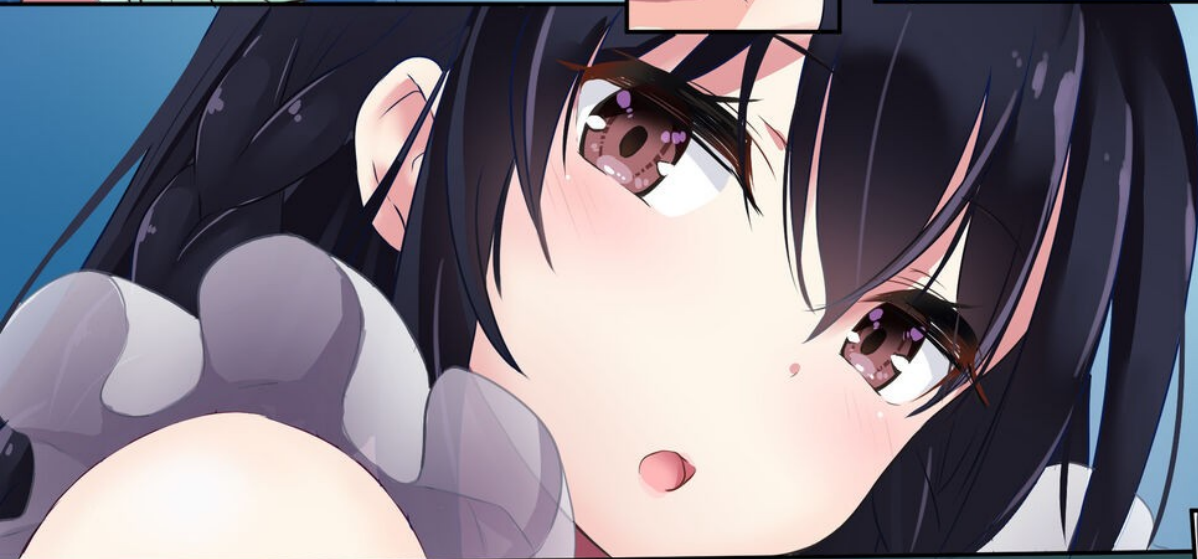
モッ

ハッ…





や...っ
やっぱり
何でもないっ



いいよ
ミキくん

おいで

.....
うん...

...んっ

んん...っ

ナナミ...
おねえ...ちゃ...っ!





...おねえ...ちゃんっ

ナナミ...
おねえちゃん...っ

いいんだよ?

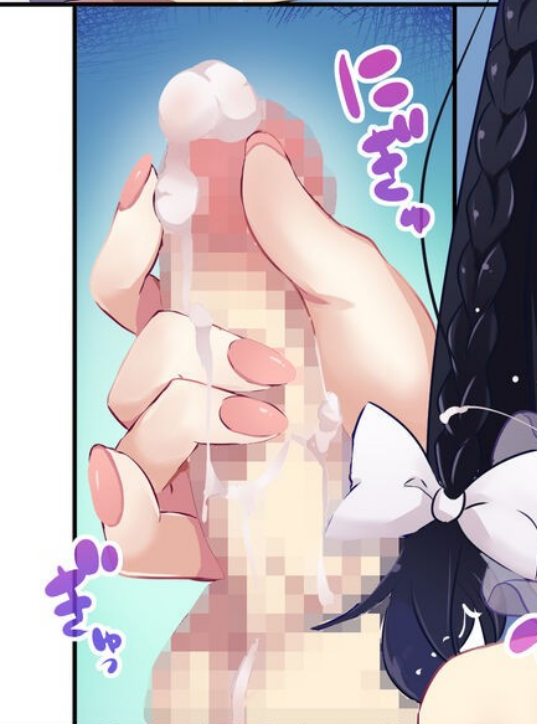
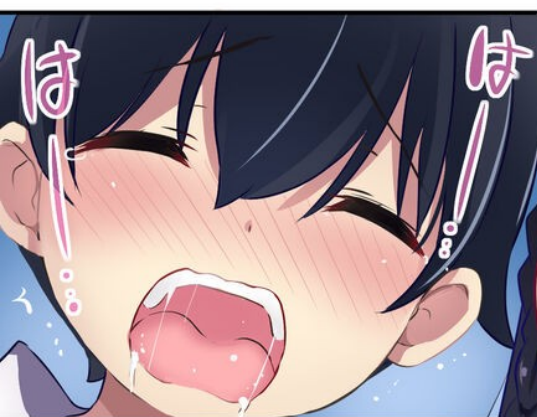
がまん
しないで...

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ



これで
もう眠れるよね？
ミキくん

うん…
ありがとう
ナナミ…
おねえちゃん…

とにかく僕は
七海お姉ちゃんが
大好きで

夏休みのあいだは
昼も夜もずっと
僕は七海お姉ちゃんに
くっついて
まわっています

だけど時々

七海
お姉ちゃんは…

いなくなる時が
あるんです…





七海お姉ちゃんが
いない田舎の日々は
すごくたいくつで

一日中
セミの鳴き声を
聴いているだけ



でも
しばらくすると…



お姉ちゃんは
帰ってくる



泣きたくなるような
さみしい毎日ー



ミキくん
ひまわり畑の
秘密基地…
覚えてる？

あそこに
行ってみようか…

七海お姉ちゃん…
今日はなんだか
ちよつとだけ
切なそうな顔…

見渡す限り
一面に広がる
ひまわり畑

僕と
ナナミお姉ちゃんの
秘密の場所

ひまわり畑に囲まれた
七海お姉ちゃんは
いつもより綺麗で…

テレビとかに出てくる
アイドルのひとみたい…

うーん
もうお腹いっぱい
サンドイッチ
おいしかったね

うん！
ナナミ
お姉ちゃんの
作ってくれた
卵サンドイッチ
お店で出てくる
サンドイッチ
みたいに
おいしい！

ふふふ
ありがとう
ミキくん

この空は
本当に綺麗…

ひまわり畑の中に
ぽっかり空いた場所
外からは
絶対に見えない
僕らの秘密基地！

ひまわり…
七海お姉ちゃん…

おなかいっぱい…



あの…
お姉ちゃん…っ

ぼく…
お姉ちゃんに…
謝らなくちゃ…



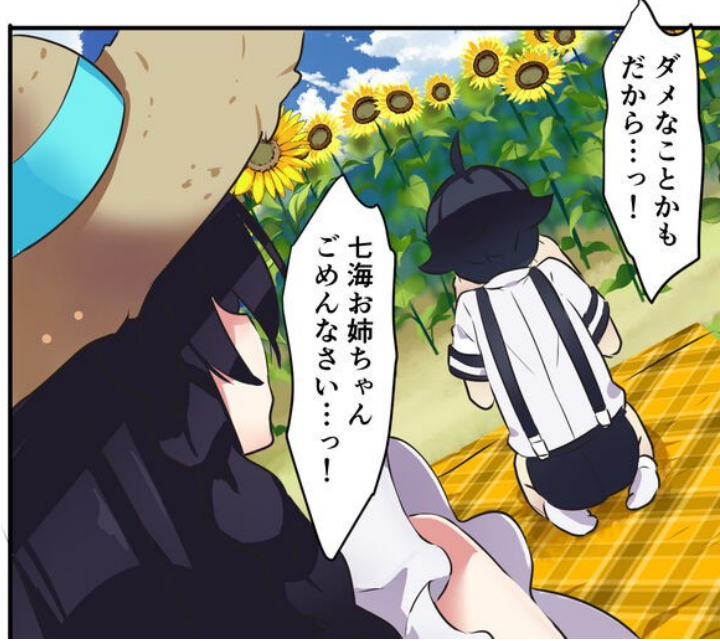
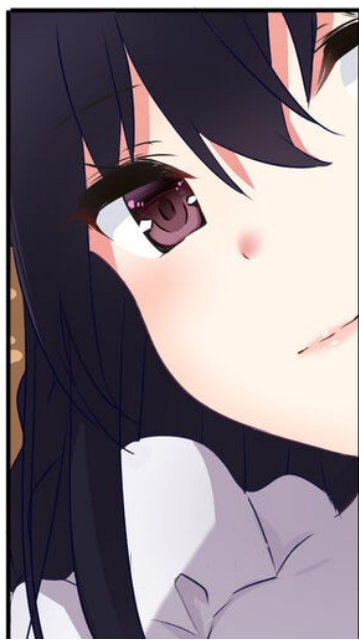
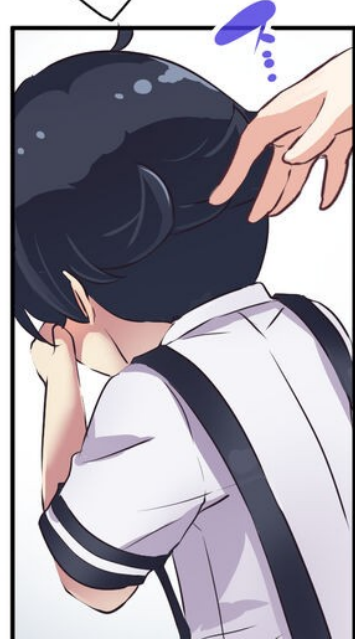
ぼく…
お姉ちゃんが
いないあいだ
すごく寂しくて…っ

その…
お姉ちゃんが
いなかったから…

アレ…して
もらえなかった
から…

だから…
その…

ひとりで
触っちゃって…



ダメなことかも
だから…っ!

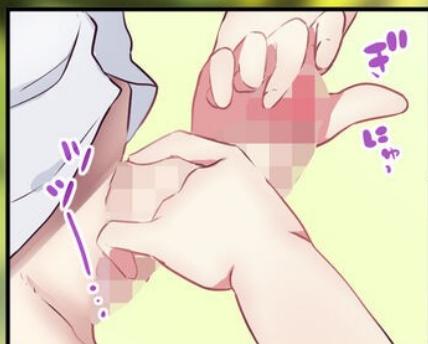
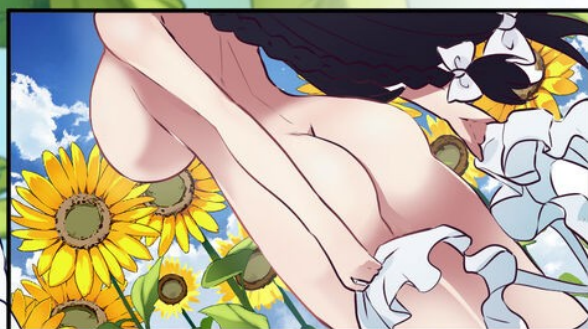
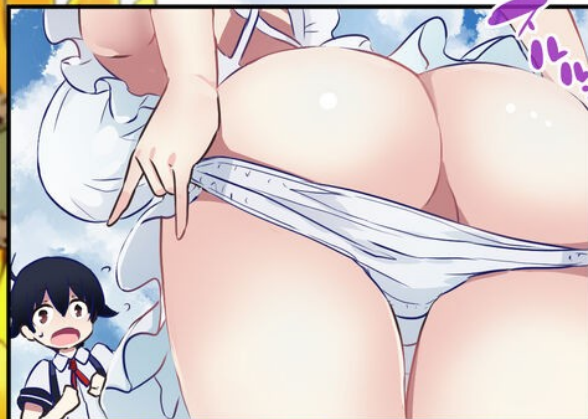
七海お姉ちゃん
ごめんなさい…っ!



おっっ
お姉ちゃんっ

あやまらなくても
いいんだよ...

それは
ミキくんが
大人になったって
証なんだから...



太陽の下で見る
七海お姉ちゃんの
肌は白くてすごく
綺麗でした…

おいで
ミキくんっ



これって
これって...

ただい

な...っ
なに...!!



は...っ

ナナミ
お姉ちゃん...っ!!

へ...っ
変な
感じだよお

ふふふっ
だいじょうぶ

リラックスして
力を抜いてっ





ミキくん
ナナミお姉ちゃんの
おっぱいも同時に
吸ってみて

いい子
いい子

甘くて…
おいしい味が
するう

ナナミ
お姉ちゃんの
おっぱい…っ

おっきな
まんまるの
おっぱい…っ





フフ…
ミキくん
気持ちよさそう…

だって…

ナナミお姉ちゃんのお腹になかった
気持ち良くて…っ
ちゅっ
んん…

ぼく…っ
僕…っ
はっ

う…うう
んんっ

ちゅっ
んん…



好きなだけ…

いいんだよ
ミキくん

このまま
お姉ちゃんの中に…

ガマンしないで



もれちゃう…っ
僕もらし
しちゃいそう…

お姉ちゃん…!!
ナナミ
お姉ちゃん…っ



やっぱり
ミキくんは
もう大人だね...♥

中で
ビクンビクン
飛び跳ねてる

ふふふっ



七海お姉ちゃんのお腹の中は
とても温かくて
とろけるようでした…

僕の
おちんちんからは
溢れんばかりの
不思議な白い液が…

今年の夏休みも
まだまだはじまった
ばかり…

七海お姉ちゃんと
過ごす夏休みー

いっぱい
でたねっ

ミキくん

今年は
どんな夏休みが
待っているのか
楽しみです



ANEITO



あとがき。

どうも、黒川いづみと申します。

はじめましての方もそうでない方も
今回はこの本を読んでくださって
ありがとうございます。

さて今作のヒロイン『七海お姉ちゃん』
いかがでしたでしょうか？
今回はかなり自分の趣向の入った
キャラになってますが
みなさんにも七海お姉さんの
魅力が伝わっていれば嬉しいです。

七海おねえちゃんみたいなお姉さんに
甘えたいなあーと思いながら作りました。

皆さんも七海お姉ちゃんに
癒されてもらえてたら光栄です。

今作の作画は過去作の中で
一番大変でした。
フルカラーというのもありましたし
背景も田舎の雰囲気を出すために
気合をいれて描きました。
時間はかかったけど、でも楽しかったです。

それでは今回はこのへんで！
次回作でまたお会いしましょう！
多分来年の夏は総集編作と思います。
その時は是非見てくださいね！

ではでは、また！

2021.12



黒川いづみ



誌名
発行元
印刷所
発行日
twitter

あねいと
オーデイン
グラフィック
2021 12
<https://twitter.com/kurokawaidumi>



ANEITO



※本作に登場するキャラクターは架空の創作物であり
実在する個人・団体とはまったく関係ありません。



本誌は成年向けコミックです。未成年者の閲覧・購読はご遠慮ください。